

本市には、様々な企業が立地しています。市民の皆さんはどのような企業が立地し、そこでどのような製品が誕生し、またどのような人が働いているかご存じでしょうか。リレー形式で、市内の企業やものづくり・人づくりについて紹介しています。

市内企業の  
ものづくり・人づくりを紹介！  
企業の  
ちから

No 7 The company in Shirakawa

(株)サクラテック  
SACRA-TECH

住所：白坂大倉矢見250  
事業内容：マシニングセンター、複合旋盤、5軸加工機を用いた金属部品の切削加工など



最高レベルのヒトづくりと  
モノづくりを目指し、挑戦し続ける。



- ① 3次元測定器で測定し、高性能の切削機器で造形されたオブジェ（非売品）
- ② 経営理念は“来るべき未来に向けて企業としてあらゆる面で革新を続ける”
- ③ 毎年、東京ビッグサイトで開催される展示会に出展しています
- ④ 工場内には高性能の切削機器が数多く並びます
- ⑤ 高い技術力を持った社員が機器を操作しています
- ⑥ 「社員が誇りに思うような会社を目指したい」と話す社長の櫻岡さん

「私たちの会社は、金属の部品加工を行っています。お客様のニーズを的確に把握し、早さ、品質の良さはもちろん、どんなに困難な加工でも、チャレンジ精神を持って迎えています」と話す社長の櫻岡敏之さん。

サクラテックは、医療機器や通信装置、半導体関連、航空・宇宙・防衛関連機器などに使用される精密部品の切削加工メーカーです。“最高レベルのヒトづくりとモノづくり”を目標に、三次元測定器や高性能の切削機器、そして、知識と経験が蓄積された技術力をフルに活用し、あらゆる複雑形状に対応した高精度の加工を行っています。

昭和22年に(有)櫻精工として創業し、平成3年に現在の(株)サクラテックに社名を変更しました。敷地面積は約1万4千㎡、社員は約70人。社内での情報の共有化に力を注ぎ、各自のスキルアップにつなげています。最近では金属の加工に加え、部品の設計開発から加工・組み立てまでの一括受注を開始。時代が求める技術を探求し、新たな技術開発に挑戦し続けています。

「社員の育成は、地域の人材育成に、会社の発展は、地域経済の発展につながると考えています。これからも真心込めたモノづくりで、高品質な製品を提供していきます」。櫻岡さんの挑戦は続きます。

白河市民への愛がいっぱい

全国から白河市に多くの義援金・寄附金が届きました。ここでは、9月19日から10月15日までの提供者をご紹介します。義援金・寄附金は、被災者の支援と本市の復興のため、有効に活用させていただきます。ありがとうございます。

振込された方については、カタカナで表記させていただきます。10月16日以降の義援金・寄附金については次号でお伝えします。

- (株)若林商店 様
- 河野昌子 様
- 鈴木いさみ 様
- 白河市囲碁・将棋まつり実行委員会 様
- 白河復興共同センター 様
- 宇都宮和子 様

《仮設住宅等支援者をご紹介します》  
(9月22日～10月21日)

- 日本カイロプラクターズ協会 様
- 明日飛子ども自立の里 様
- 栃木ボランティアネットワーク 様
- とちぎYMCA 様
- 天理教 北多摩西部支部 様

Introduction of the cover 今月号の表紙

今月号の表紙は、10月6日に表郷天狗山球場（表郷番沢）で開催された、(財)世界少年野球推進財団（WCBF、王貞治理事長）主催の「JA全農WCBF少年野球教室白河教室」の様子と、白河市民あてにいただいた王貞治さんのサインです。

王さんと言えば、野球の経験がある人はもちろん、野球を知らない人でもほとんどの人が知っている存在。「野球の楽しさを子どもたちに伝えたい」。王さんはほほえみながら話してくれました。

王さん、関係者の皆さん、取材へのご協力ありがとうございました。



野球教室では、元プロ野球選手（西崎幸広さん、市川和正さん、水上善雄さん、屋鋪要さん）からの熱心なアドバイスが、市内の小・中学生が真剣なまなざしで聞いていました。